



大和市立緑野小学校
学校だより 8月号

みどりの



令和2年7月31日

7月の学校生活風景

校長 稲葉 敦子

明日から8月です。例年ならずすでに夏休みに入っているところですが、もう少し登校することになります。また、29日より個別懇談が始まりました。お忙しい中お時間を割いていただきありがとうございます。短い時間ですが、担任と保護者の皆様とでお子さんについて共通理解ができ、今後の指導に生かしていけるよう有意義な時間にしたいと思えます。

さて、全員が登校できるようになって1か月が過ぎました。校庭からは、「1, 2, 3, 4。」「5, 6, 7, 8。」と、体育の準備運動をする声が聞こえてくるようになりました。体育から戻ってきた子に「たくさん体を動かしてきましたか？」と声をかけると、「はい、動かしてきました。」と答えた子の清々しい笑顔がとても印象に残りました。また、各教室の廊下には図工の作品が飾られ、日々の授業の積み重ねが一つひとつ形となってくつあります。絵の具やクレパスで描かれた絵、折り紙や粘土で作った作品を見ていると、一人ひとりの個性を感じることができるとともに図工の時間に集中して取り組んでいた様子などが思い浮かんできます。作品など子どもたちが一生懸命に取り組む姿を見るたびに、また一つ日常の学校生活が戻ってきたことを感じました。

5・6年生による委員会活動も始まり、休み時間に子どもたちが、「ろう下は歩きましょう！」という言葉が書かれた看板を持って活動している様子が見られます。朝の放送では「あいさつができましたか。」という他に外国語のあいさつを紹介したり、「当たり前前のことが当たり前でできる緑野小にしましょう。」という内容を放送したりして、伝える内容を工夫していました。「当たり前前のことができる緑野小」の言葉には、自分の気も引き締まる思いです。学習も生活も子どもたちがよりよい学校生活を送ろうとする姿に感心しています。

先日、市から配付されたパーテーションを児童の机に設置しました。給食や授業等必要に応じて使用します。マスク着用、手洗い、ソーシャルディスタンス、消毒等、さらに感染予防にも努めていきます。

新型コロナウイルスも心配ですが、熱中症の季節でもあります。今年は梅雨あけが遅いため、厳しい暑さを感じる日はまだ少ない方ですが、それでもマスクをしながらの生活は、熱中症にも十分注意しなければいけません。以前にも登下校時のマスクの着用については、交通安全に留意し可能な範囲で密にならないようにする中で着脱は状況に応じて可能であることをお伝えしておりますが、これからますます暑くなる日が増えますので、学校でも水分補給とマスクの着脱については併せて伝えていきます。